

白岡市スポーツ推進計画【概要版】

計画全文は
こちら→



計画の位置付け

本計画は、国が策定した第3期スポーツ基本計画を念頭におき、スポーツ基本法に定める地方スポーツ推進計画として位置付けられます。本計画の策定にあたっては、『第6次白岡市総合振興計画』及び『第3期白岡市教育振興基本計画』を上位計画とし、国の基本計画及び『埼玉県スポーツ推進計画』を参酌し、健康・福祉・教育などの各分野の関連計画との整合性を図ります。

本市の現状と課題

- ・スポーツから遠ざかっている世代に向けたアプローチ
- ・市民のスポーツに対する意欲と実際の行動の乖離
- ・多くの市民が健康・体力づくりのためにスポーツを実施
- ・市民のスポーツイベントに対するニーズが高い
- ・安心・安全にスポーツを行える環境整備
- ・スポーツ団体の団体数・会員数の減少
- ・障がい者のかたが気軽にスポーツを楽しむための環境づくり
- ・中学校部活動の地域展開のための体制づくり



スポーツの基本的な考え方

本計画においては、競技スポーツのみならず、健康増進運動、レクリエーション活動、幼児の運動遊び、その他自らが意識し、身体を動かす活動を、スポーツとして定義することとします。

また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの視点から、幅広い概念で捉えることとします。

計画期間

令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間

基本理念

みんなでスポーツ いきいきしらおか

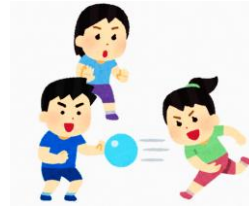
本計画では「する」「みる」「ささえる」の視点に基づき、市民一人一人がスポーツに携わることにより、人生を豊かにし、いきいきと健康的な生活に繋げていただくことを目標とします。

また、スポーツやスポーツ施設を中心に本市全体が地域として活性化することや、スポーツを通じて共生社会の実現に繋がり、いきいきと輝くまちを目指します。

基本方針1 スポーツ活動の推進

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ① 子どもを対象としたスポーツ活動の推進
- ② 成人を対象としたスポーツ活動の推進
- ③ 高齢者を対象としたスポーツ活動の推進
- ④ 障がい者を対象としたスポーツ活動の推進
- ⑤ スポーツ実施率の低い女性、働く世代、子育て世代を対象としたスポーツ活動の推進
- ⑥ 世代間をつなぐスポーツ活動の推進



(2) スポーツが楽しくなる環境づくり

- ① みんなが楽しめるスポーツの推進
- ② スポーツを身近に触れられる機会の拡充
- ③ スポーツをみる機会の充実
- ④ スポーツを通じた仲間・コミュニティづくりの支援

(3) スポーツを通じた健康増進

- ① 健康づくりに向けた意識啓発
- ② スポーツに通じる機会の提供

計画の指標

- 週に1日以上スポーツ実施率
現状値 42% (令和3年度)
→ 目標値 55% (令和12年度)



基本方針2 スポーツにおける環境づくり

(1) スポーツ施設の充実

- ① 公共スポーツ施設の充実
- ② 学校体育施設の開放
- ③ さまざまな施設の活用

(2) スポーツ関連情報の発信

- ① スポーツ推進のための情報発信
- ② 天候に関する注意喚起

(3) スポーツをささえる団体との連携・支援

- ① スポーツ団体との連携・支援
- ② スポーツを普及する団体との連携・支援
- ③ 民間組織との連携

(4) スポーツをささえる人材の育成・支援

- ① 指導者の育成・支援
- ② 協力者等の育成・支援



計画の指標

- 公共スポーツ施設・学校体育施設開放事業利用者数
現状値 330,503人 (令和6年度)
→ 目標値 369,700人 (令和12年度)
- 新春マラソン大会における一般ボランティアの数
現状値 18人 (令和7年度)
→ 目標値 50人 (令和12年度)

基本方針3 スポーツを通じた地域づくり

(1) スポーツによる共生社会の実現

- ① インクルーシブスポーツの充実

(2) スポーツを通じた地域の活性化

- ① スポーツを核とした地域の賑わいづくり
- ② 特色あるスポーツイベントの充実
- ③ スポーツを通じた観光振興
- ④ スポーツイベントを通じた民間企業との協働



計画の指標

- 白岡新春マラソン大会申込者数
現状値 2,327人 (令和7年度)
→ 目標値 2,500人 (令和12年度)
- スポーツ施設を活用した賑わい創出のためのイベント開催数
現状値 6件 (令和6年度)
→ 目標値 15件 (令和12年度)